

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成 31 年 3 月 5 日

事業所名

くまのこ

| チェック項目 | | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|---|----|-----|---------|--|
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | | 保護者からアンケートを通じ、個室対応が出来たら…と伺ったのだが、スペースの問題があるので、取組をうまく連動させるようにしております |
| | 2 職員の配置数は適切である | ○ | | | 昨今の人手不足で人員確保が厳しい状況ですが、今の支援体制を維持できるよう、今以上の支援が出来るように努力してまいります |
| | 3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | ○ | | | 構造化に関しては、児童さんに応じて室内環境を整える方向であります。バリアフリー対策につきましては、車椅子に乗ったまま事業所に入ることも出来るのですが、お気づきの点などがありましたらご提案頂ければと思います |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | ○ | | | 清掃に関しては児童さんが来られる前の日課に組み込んでおります。こぐま内の環境は児童さんに楽しんでもらえるように配慮しております |
| 業務改善 | 5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | ○ | | | 児発管・児童指導員を含め、意見交換を行い適切に行っています |
| | 6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | | 今回のアンケート結果を基に、事業所として行動していくことが決まっています |
| | 7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | | 当社HPにて公開 |
| | 8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | ○ | | 外部評価は行っていないが、法人内でその事業所に属さない人員により業務管理を行っている |
| | 9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | | 月に1度法人内で研修を行い、職員の資質向上などを意図している |
| 適切な支援の提供 | 10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | ○ | | | 事業の根幹をなすところなので、法人として丁寧に対応しています |
| | 11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | | ○ | | 当事業所では児童さんの発達程度に格差があるため、標準化されたものではなく、児童さんの状況に応じたアセスメントを行っております |
| | 12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | ○ | | | 保護者への説明は必須事項と考えておりますので、事業所として丁寧に対応していきたいと思います |
| | 13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | ○ | | | 事業所として必ず履行しなければならない点なのでしっかりと対応させて頂いております |
| | 14 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | | 事業所毎、児童さんの状況に応じてプログラムの選定を行っております |
| | 15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | | 通所されている児童さんが楽しんでもらえるように職員を指導しております |
| | 16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している | ○ | | | アセスメントを基に適切な個別療育、集団療育を設定し支援計画書を作成しています |

| チェック項目 | | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|--------------|---|----|-----|---------|--|
| | 17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | | 随時行っております |
| | 18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | | 療育記録や申し送りを通して、全職員が共通の見解をもてるよう取り計らっております |
| | 19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | | 療育記録などからよりよい支援の模索も行っております |
| | 20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | | 随時行っております |
| 関係機関や保護者との連携 | 21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | | | 主に、児発管の者が対応しております |
| | 22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | | 状況に応じ連携している |
| | 23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | - | - | - | 現状、医療ケア児は通所されていません |
| | 24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | - | - | - | 現状、医療ケア児は通所されていません |
| | 25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | | 事業所として必要に応じ連携している |
| | 26 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | | 事業所として必要に応じ連携している |
| | 27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | | 必要に応じ、関係機関と連携し支援に活かしている |
| | 28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | | ○ | | 外出時などに、地域の児童さんとともに遊びことはあるが、定期的な交流などは現状行っておりません |
| | 29 (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | ○ | | | 児発管の者が参加し、事業に対し理解を深めています |
| | 30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | | 事業の根幹をなすところなので、法人として丁寧に対応しています |
| | 31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている | ○ | | | 保護者の状況・ニーズに応じ支援を行っております |
| | 32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | | 事業の根幹をなすところなので、法人として丁寧に対応しています |
| | 33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | | | 事業の根幹をなすところなので、法人として丁寧に対応しています |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|------------|----|--|----|-----|---------|--|
| 保護者への説明責任等 | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | | 保護者の状況・ニーズに応じ支援を行っております |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | ○ | | | 事業所の方で行っているが、アンケートで事前告知などについて改善点が見られたので、今後対応予定 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | | 過去の課題から事業所に問題などが発生した際には、しっかりと報告を行うように指導を行っております |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | | 定期的に活動予定などの告知を会報などで行っています |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | ○ | | | 法人内で規約を定め、従業員に遵守するように通達しております |
| | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | | 支援の為には意思疎通が必須であるので、事業所として必須事項と考えております |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | ○ | | 現状、地域の方々との交流はないが機会があれば参画したいと思っています |
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | ○ | | | 各種マニュアルは策定しているが、アンケートより告知不足の印象があつたため、再告知を予定しております。また訓練は定期的に実施しております |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | | 定期的に訓練などは行っており、職員にも有事の際の行動指針を伝えている |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している | ○ | | | アセスメントにおける基本事項に含まれています |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | - | - | - | 過去にも、強度の食物アレルギーを有しておられる児童さんは通所されていませんか、そのような際に事業所として充分に配慮する必要があると思っております |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | | 法人内で従業員全員に義務付けられており、法人内でヒヤリハット報告書が蓄積されています |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | | 月に一回法人内で研修を行っており、その際に指導を行っている |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | ○ | | | 現状事業所の方で身体拘束は行っていないが、過去に該当事例が発生した際には、左記のような対応を行いました |

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。